

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	講義室
担 当 教 員	山本 哲也	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
病的状態に至る原因や過程について西洋医学的な観点から理解できることを目標とする。 この目標を達成するにあたって基礎医学と臨床医学を横断的に学ぶため医学知識の深化と定着が期待できる。						
《成績評価の方法と基準》						
課題(20%)、期末試験(80%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
わかりやすい病理学 改訂第7版(南江堂)、配布資料など						
《授業外における学習方法》						
解剖学や生理学の復習が病理学の予習になりますので、それらの自習に取り組んでください。 また期末試験前には配布資料や講義メモを丹念に見直して知識の定着を図ってください。						
《履修に当たっての留意点》						
解剖学や生理学などの基礎医学分野と臨床医学分野の間に位置するのが病理学です。 授業を通して各分野の関係性に気づき理解できるように主体的に学んでください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	退行性病変について概要を理解できる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習	
		各コマに おける 授業予定	代謝障害、退行性病変と進行性病変、萎縮について			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	変性について理解できる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習	
		各コマに おける 授業予定	様々な変性、ビリルビン代謝と黄疸			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	老化や生活習慣病について病理学的に理解する。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習	
		各コマに おける 授業予定	加齢と老化、主な生活習慣病			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	壊死や死の状態について理解できる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習	
		各コマに おける 授業予定	壊死と死、退行性病変のまとめ			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	進行性病変について概要を理解できる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習	
		各コマに おける 授業予定	進行性病変について、肥大と増殖口			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	再生と化生の違いや特徴について理解できる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	再生(生理的再生、病的再生)、化生		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	移植と拒絶反応および創傷治癒について概要を理解できる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	移植と拒絶反応、創傷治癒		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	骨折の治癒や異物の処理について知る。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	骨折の治癒過程、異物処理、進行性病変のまとめ		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	炎症の機序を理解する。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	炎症の概要、炎症細胞と起炎物質、炎症の機序と転帰		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	種々の炎症について特徴を理解する。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	変質性炎(実質性炎)、滲出性炎(漿液性炎、線維索性炎、化膿性炎、その他)		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	種々の炎症について特徴を理解する。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	増殖性炎、特異性炎、炎症のまとめ		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腫瘍の概要について理解する。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	腫瘍の概念、腫瘍の組織学、腫瘍の特徴		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腫瘍の成り立ちや転帰について理解する。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	腫瘍の発生原因、腫瘍発生の諸段階、生体におよぼす影響		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腫瘍の特徴、腫瘍の診断・治療について理解する。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	良性腫瘍と悪性腫瘍、腫瘍の診断と治療、腫瘍のまとめ		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	講義内容を知識として、しっかりと定着させる。	教科書 配布資料	1～14回の配布資料を確認し、重要項目について予習すること
		各コマにおける授業予定	まとめ		